



# 新華報

中外易賈機關

這次日本關東地方之大震災實為有史以來未曾有之大慘事就中東京橫濱二市最極其慘到底非可筆舌記述如東京明治維新以來五十年此間成建設之功文化之精華一夜悉歸烏有其滅失之財貨不知幾十億對自然力之强大吾人只吃驚耳際此國民的一大災厄歐美各國均表多大之同情對罹災民救護傾注全力講種々方策以應援我國吾人真感激不措也就中隣邦中華民國不顧從來有諸種懸案放棄一切之感情正視我日本之災禍上下朝野舉寄空前之同情北由滿洲南迨廣東相舉叫救援政府發大總統令支出救恤金命慰問使之簡派斷行防禦令之臨時撤廢大官紳商各捐出義金或特派紅十字救護班診療傷病者由民間各種團體及學生聯合會等各派遣慰問及視察員又上海民間團體齊多數之金品稱載汽船新銘號來航實為外國救援船之第一船如此敏速之行動屬中華民國對外史上異例之事為應特筆大書之現象真為西隣國民對我國深甚厚誼之表現也

施慰問使來朝之際語新聞記者云為之端緒中日兩國間之國交上當劃一新時機乎此言我六千萬同胞均所同感這次勃然而興起此對日好意之表現我國民所不豫料而中華國民亦當所不前知雖然當此大災難忽然此友情勃興者即中華民國人士之胸臆既胚胎對日好感偶依此震災之事變莫非為喚起之導火線乎

我外務省及民間有志對在京濱中華民國罹災者極厚遇之務期無遺漏對避難神戶

## 日華親善之一新時機

巡閱使以下各省軍民長官電告  
曹錕氏當選大總統云

及大阪等之人士收容救護極致懇切對回國希望者日本郵船大阪商船二公司率先

以無料送還其目的地又大阪對華貿易業家之團體大阪貿易同盟會勸說會員間捐出義金三千餘圓經神戶駐在領事之手寄贈收容中華會館其他罹災之中華者大如

阪市京都市神戶市亦特對華僑避難者寄贈數萬之金品以表同情之意目下中國南北各地之新聞紙上所說決對我國不有惡感其他認識我邦人之國民性美點北京亦

上之途採錄見聞之事實其書中云混亂之火車中聞中華之慰問使在車中同乘之日本人特讓坐席于慰問使對此一些事湯氏

不堪感激之情云云中日之親善蓋由如此些事成根柢也

吾人對善隣官民之好意深表感謝之意同時亦對我邦人希望則體得中華民國朝野之好意宜覺醒掃從來之感情對中華官民更表示一層之好意是也如此則中日親善之一新時機蓋發生於此乎

對臨城事件答覆如何

對外交團提出臨城事件反駁文中國政府閣議之結果決促田中玉氏之上京對外交團之通牒止發答覆待曹昆氏就任大總統擬實行鐵道警備其他之改善云

## 張作霖氏之態度

張作霖氏對奉直間之調停者李際春告自己之意思曰曹混氏推薦余副總統之一事不堪感謝雖然余應辭退之余以保境安民為念不欲投北京政局之渦中這次舉行之大操演地點為北鎮錦州綏北方面以北軍一師南團軍廿七師為中心不過駐屯為軍

之操演此事預先布告要之不過奉天軍秋季操演然世上往々以此事為與直隸派開戰之預備全屬虛偽余態度公明正大苟乘隙起事等卑劣之行動余所不執也云云

## 中華民國新大總統

初五日國會開大總統選舉會當日午後一時出席議員達五百九十三名以超過法定數直開大總統選舉會曹錕氏以四百八十名之大多數當選新大總統而期本

月十日之國慶日舉行大總統就任式云國務院當日直對檢閱使攝政內閣辭職決定

攝政內閣決定於大總統就後總辭職俟曹氏舉行大總統就任式之後直提出辭表









# 關東震災義捐金 募集結了 に就て

一、本次勃發したる關東震災は有史以來の大惨事にして超國家的に超人種的に深厚なる同情か翕然として世界的に集まり來れるは人道上誠に當然のことあります。此間日本國民が罹災同胞救援の爲め猛然として奮起したるは又深く贅する迄もなき所であります。

二、吾々對華貿易業者は日本國民として素より分に應じ其本分を盡したるも更に一步を進め對華貿易業者としての立場より本次罹災したる華商其他の中華民國人の救援を特に痛感したるものであります。

三、初め本會は會員個々に義捐寄贈の方針に企て特に本會として罹災者救援義金の募集を同打揃ひ見舞品を携帶して神戸に赴きたる中華民國人の救援を特別に引揚者慰問の爲め九月十二日本會役員一同打揃ひ見舞品を携帶して神戸に赴きたる中華民國人の救援を特に想を致し初志

四、夫れより本會は急遽臨時役員を開き（一）本次罹災したる華商其他の中華民國人の救援を可と懇願する事（二）時機を見定め中華民國人の罹災を下的災害を防ぐ事（三）追悼會を開催する事の二の目標を達成し（四）總出動の上全會員を訪問して出捐金を募集中華民國人の救援を可と懇願する事（五）本會の趣旨を諒解し直に深厚なる同情の成績を挙げたるは役員一同の深く感謝以上左に記載した次第であります。

五、然るに不在其他の少數會員を除き各會員且つ満足に堪へざる所であります約により豫想以上の成績を挙げたるは役員一同の深く感謝以上左に記載した次第であります。

六、尚ほ義捐金は其處分に關し曩に本會報告書を以て御通知申上し如く九月十八日二

從ひ神阪華僑救濟團へ金三千圓也を交付贈る旨呈し其旨民國領事へ報告したる所、何れも豫定であります。大正十二年拾月

## 大阪貿易同盟會

# 大阪貿易會關東義金應募會員芳名

一金五拾圓也

稻垣商店

春社

元石鹼製造所

太田宗助商店

西林兵商店

太田金治郎商店

太田俊介商店

太田金作商店

太田嘉慶商店

太田豐治郎商店

太田兵衛郎商店

太田行郎商店

太田太郎商店

太田助之郎商店

太田忠野郎商店

太田次郎商店

太田助郎商店

太田支店

太田高橋口商店

太田木彌助商店

太田田中商店

太田谷兄弟商店

太田明商店

太田八郎商店

太田利本商店

太田卯商店

太田喜洋商店

太田洋子商店

太田洋三商店

太田吉郎商店

太田太郎商店

太田太郎商店

太田泰郎商店

太田太郎商店

(七) 號四十七百八篇

支那木炭の輸出減

支那本炭は愈々需要期に入りしに拘はらず、產地溫州地方に於ける暴風雨による裝品の著しき損害に加ふるに恰も農繁期に相當せる爲め、昌出廻の抄々しからざる折柄、關東大震災の爲め船便の不圓滑を招來し、本炭の輸出は殆んど

百俵、門司五百俵、大阪千四百五  
十俵、神戸百俵、合計六千五百五  
十俵（但し横濱向は震災救恤に  
して商取引としては其他の僅に二  
千俵内外に過ぎぬ）從來支那木炭  
の仕向地は京濱東方を主とし而か  
も今後同地方の寒氣と防寒設備の

來た外人は汽船三十三隻で五千四百五六十六名これに陸路來神者を合せて七千八百五十五名に達したがその内歸國又は他に移動した者を除き現在市内に滯在してゐるは合計三千六百六十一名である、この内譯は支那人二千六十五名その他の外人一千五百九十六名である。

の折角の勧誘を斥けた人がある相  
だ後で主人公と知れた某氏は大歎  
息つて居る

壬氏曰く 大阪貿易同盟會では  
今度大阪神戸の兩商業會議所と共に  
中華民國人死者の追悼會を遺  
る相だ活動が次第に國家的になつ  
て來た譯だ

# 避難外人

不完全との勢ひ廉價なる支那木炭の需要を一層喚起するものと上海一般斯業者間に豫想せられ居るも之を實際に徵するに、横濱を初め東京に於ける木炭問屋の損害は莫大なものあり、中には再起の望なき者も渺ながらざる爲め購買力激減し、他方日本に於ける木炭生産供給力は相當豊富であり、加之木炭輸入税撤廢と暴利取締令との廃迫あり、之等の理由に牽制されて日本木炭相場は割安を保ちつゝあるが之に反し支那木炭相場は前述の事情により割高を示し居る爲め此値段にては當分大した輸出は望み難く、従つて本年内の輸出高は例年に比し幾分減少するを免れないとあらう。

丁氏曰く 三重四重の經濟的地震にあてられ然かも四面楚歌の中から會の決議なるが故にて更に寄附の申出をした特志家も某會には有つた相た。

戊氏曰く 人心は様々だが非常の際には本心を現はすもので見上げた人と醜ひ心の持主とが震災義金の募集で遺憾なく現はれた相だ 己氏曰く 義金を出し盡つたり 他の方面へ出した顔して出さなかつたりした人もある相だが斯う云ふ人に限つて利得さへあれば他人の葬式でも取込まうて云ふ手あい

さ

庚氏曰く 大阪貿易同盟會の役員今度の活動は誠に敬腹の外はない、各方面の義金勧誘に應したり

甲氏曰く　震災罹災者は誠に氣の毒な譯で富める者も貧しき者も總有同情を淺むだのは素より當然の事である

乙氏曰く　震災義金をアチラチラで申込まれ大に板面棒を振られた人もある相た

丙氏曰く　平常は貿易商の何のどイバル癖に義金釀出の勧誘を斷るのに逃げ隠れした人もある相

六日時 本月二十日午後二時  
(午後四時迄隨意燒香)  
神戶市中山手通六丁目

大阪貿易同盟會

三、追悼法式 佛式（中華民國式）  
以 上  
大正十二年十月 日

啓者敝所開創以來於東京有營業所並工廠專辦下開各種品目之製造販賣運售內外各地頗博賞讚銷路日盛月旺這次更決計爲努力海外輸出起見新設立經理所于大阪市以欲資惠顧各位之利便而期貨真價實切希陸續賜定辦不勝切禱之至謹佈

營業項目	體	溫	表	乾	濕	素
寒	體	溫	表	乾	濕	素
比	造	用	表	化	學	玻
釀	寒	暑	表	璃	器	表
重	暑	表	表	各	種	色
				彩	玻	璃

農商務省製作免許工廠  
渡邊檢溫器製作所

及第一工廠  
營業部

東京市外千駄ヶ谷四丁目  
電話四谷二三七番

第二工廠  
大阪出張所

東京市外幡ヶ谷九六七番  
大阪市外海老江一〇六六番



# 通化に於ける賣藥賣行狀況

(在通化帝國總領事館分館主任外務書記生阿部又重郎報告)

支那向賣藥の種類  
(醫療藥及藥療器具機械を含む) 沃度劑發汗劑健胃劑婦人藥(中將湯)  
命の母、實母散) 小兒劑(解熱劑  
蟲疳劑) 眼藥(就中大學目藥) 清涼  
劑(仁丹) 醫療藥に於ては右の外  
重曹シヤリ鹽最も其他簡単なる

## 醫療器具

### 一年間の販賣總額

大正九年	五	萬元
大正十一年	六萬二千五百元	七萬六千元

### 販路及販賣方法

醫療藥及器具等の需要は主として少數支那醫師又は駐屯軍隊或は他の衙門に過ぎず極めて少量にして一般賣藥の顧客は地方在住の農民にて範圍極めて廣くされば販賣方法の如きも一々小賣の繁を避け本縣及隣接の柳河、臨江、桓仁輯安各縣主要の地の信用ある店舗と結び卸賣的に一時に多量の賣藥を捌きつゝあり代金の如きも取引の都度現金授受どし小賣は單に廣告用に過ぎず

### 需給の變遷及支那人の人氣

元來支那にては數千年前彼の三皇五帝時代より醫療等に關する知識は傳はり爾來所謂漢法と稱して傳統的歴史を有するに拘らず或一部の有識者を除くの外一般民族に往々薄命にして了る者多かりしに一般に洋藥の紹介となり又彼等が基督教の傳播と共に宣教師等は布教の方便として盛に施療を行ひ爲に至り茲に翕然として支那人に於ても初て洋藥の卓效である事を知るに至り茲に翕然として

給の爲に獨逸品の輸入を見たりしが日露戰後本邦商人の手に據り徐及びたるが日下の狀態は地方農民の如きは一旦罹病し困難の場合は必ず日本の賣藥に據らざる可らずとの觀念を抱かしむるに至れり

### 改良す可き點

特に改良を施す可き點なきも藥包等に用ふる廣告文若は效能書等は必ず支那向話文又は支那時文にて爲す可き要あり價格の點に就ては何分當地方の如く奉天貨(小洋票)の流通する處に於ては今日の如く日本金貨に對し著しく奉天貨の下落し居る際は需要者に於ても成るべく購入を差し控ふるの無已

狀況にあり出來得べくんば支那向品として特に支那貨幣騰降の平均那貨定價として發售せば常時不變を取りて日本金貨と比較し全然支那方面への賣込は目下の處困難なるべきも廣東内地は政爭に忙しく此方面は左迄排斥現象なし排熱熾烈なる福建方に俟つて日本庄と稱し日本供給に俟つて日本庄と稱し日本庄製たることを明示せざるに於ては賣込上甚敷支障を來すことなかるべし

### 本邦賣藥ご支那

本邦藥品を支那藥種所謂漢法藥に比較すれば元より價格に於ては多少不廉なる可きも效果の點に於ては極めて卓效ある事は既に一般需要者側に於て確認する處にして從て賣行の如きは逐年額を増し當地有數の漢法藥種店を壓倒す可き形勢にあり而して支那人藥舗にて現下の市況及前途 目下日本品一打八弗五十仙見當なり若し十弗以上に昂騰せば當地工場にて材料を輸入して製造しても充分引合ふ故輸入商談見込薄となるべし當地にては日本庄と稱し日本品のみを取扱ふ店舗ありシャツ鑑詰類と同様現物掛賣にて卸賣する習慣なり



貿易家須知名

扇並團摺  
發售

大阪市東區南久寶寺町三丁目

稻垣政七商店

各樣  
鈎鉗刷子  
製造輸出

小山治號

各樣  
鈎鉗刷子  
製造輸出

太田宗助商店

各樣時鐘  
並雜貨漆  
器輸出商

H米田商店

各樣鐘  
並雜貨漆  
器輸出商

吉川豐助商店

各種鐘  
並雜貨漆  
器輸出商

上田西號

花線洋線  
辨球線  
輸出

清水政洋行

扇並團摺  
發售

洋手巾  
會社

稻垣政七商店

各樣  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

小山治號

各樣  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

高岡卯號

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

松山號貿易部

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

小林商店

日本郵船會社  
專外貨物運送業  
並阪神間解曳船  
出張所

日丸組回漕店

扇並團摺  
發售

九重綠香皂  
芝蘭黑香皂  
其餘各式  
自造輸出

春元石製造所

各樣  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

河村潤三郎商店

各樣  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

高田鉗  
店

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

共同工業株式會社

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

寺西撚絲  
會社

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

平松商店

扇並團摺  
發售

各種  
暖水瓶  
獨逸瓶  
並各  
種莫大  
毛巾頂上  
襪子  
自造輸出

二和商店

各樣  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

加藤武商店

各樣  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

辻伊洋行

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

藤村眞三商店

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

青山輝三商店

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

櫻口商店

扇並團摺  
發售

各種  
莫大  
B牌  
襪子  
自造輸出

西村金商店

各樣  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

合資二和商店

各樣  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

合資加戸商店

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

合資林兵商店

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

辻伊洋行

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

藤村眞三商店

扇並團摺  
發售

各種  
化粧品  
自造輸出

HO細田花蝶園

各樣  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

西村金商店

各樣  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

合資二和商店

各樣  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

合資加戸商店

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

合資林兵商店

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

辻伊洋行

扇並團摺  
發售

各種  
樹膠  
自造輸出

大内政治郎

各樣  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

大内政治郎

各樣  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

耀明號

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

合資林兵商店

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

合資加戸商店

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

合資林兵商店

扇並團摺  
發售

莫大小  
陸海軍御  
製批發  
品各  
種

小川商店

各樣  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

小川商店

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

山本武號

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

村上武男商店

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

小林盛光堂

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

三好工廠

扇並團摺  
發售

各種  
樹膠  
自造輸出

大内政治郎

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

大内政治郎

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

耀明號

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

合資林兵商店

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

合資加戸商店

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

合資林兵商店

扇並團摺  
發售

各種  
樹膠  
自造輸出

大内政治郎

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

大内政治郎

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

耀明號

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

合資林兵商店

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

合資加戸商店

各種  
鐘錶附屬  
雜貨輸出

合資林兵商店

